

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 04-003

PDCA	事務事業名	アダプトプログラム推進事業		部課等名	企画部 市民協働課 市民協働担当	担当	岩田	
						内線等	237	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち						
		節： 第1節 協働のまちづくりの推進						
		基本施策： 2. コミュニティ活動支援						
		単位施策： (1) コミュニティの活性化						
	根拠法令等	個別施策： ③活動環境の整備						
	根拠法令等	半田市公共施設アダプトプログラム実施要綱						
	対象・目的	公園、道路、河川等の公共空間の美化及び保全等を目的として、市民がボランティアで管理するアダプトプログラムを実施する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	市民、企業等に本事業の周知を行い、市と養子縁組を結んだ登録者（はんだクリーンボランティア）を増やす。 はんだクリーンボランティアの活動を支援するため、清掃美化活動に必要な物品及び備品の管理を適切に行い、これらを必要に応じ提供、貸与する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①物品の提供（ゴミ袋）		629	467	462	セット	
		②物品の提供回数		123	143	157	回	
		③						
		事業費		538	529	517	千円	
		人件費		2,881	2,866	2,796	千円	
		総事業費		3,419	3,395	3,313	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①物品の1提供当たりにかかるコスト		28	24	22	千円		
	②							
	③							
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①はんだクリーンボランティア新規登録者数	実績値	—	—	93	人	
			目標値	—	—	150		
②		実績値						
		目標値						
③		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
		C						
		活動状況アンケートにより把握した必要な物品を適切に支給するなど活動者を支援し、持続可能な環境美化活動の推進に努めた。本制度を活用した活動がされていない地域もあるため、より一層PRし、新たな活動者の増加に努める必要がある。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進						
	活動者が継続して行えるようニーズに沿った物品を引き続き支給するとともに、活動地域を地理情報システム（GIS）により見える化を図り、活動がされていない地域の情報を本制度とともに周知し活動者や活動地域の拡充に努める。							
	令和3年度の目標	成果指標				目標値	単位	